

2024年度事業報告

(2024年4月1日から2025年3月31日)

当財団の2024年度の事業は、収益面は昨年度から減少せず、同等額でした。奨学金給付事業は、昨年度に比べて給付学生数が減少したため、奨学金給付総額は減少しました。国際交流支援事業は、昨年度の申請3件、採択3件から、今年度は申請1件、採択1件となり、支援額も減少しました。

1. 事業

(奨学金給付事業)

学業優秀、品行方正でありながら、経済的理由により修学が困難な兵庫県出身又は兵庫県内の学校に在学中の高校生、大学生及び大学院生に対して、奨学金を給付する。

【高校生】

- ・高校生は、2024年4月に10校の兵庫県立高等学校に、奨学生募集要項を送付し、第1学年を対象として奨学生を募集しました。
- ・10校より18名採用予定に対し、8校より14名の推薦があり、選考の結果、第1学年14名の奨学生を決定しました。
- ・前年度第1学年12名、第2学年15名については、各学校長より、転校、休学、退学及び著しい成績の降下等もなく、其々第2学年、第3学年に進級する旨報告があり、奨学金給付を継続しました。
- ・高校生は、合計41名に、一人当たり月額15,000円の奨学金を給付し、給付額は、7,380千円となりました。

【大学生、大学院生】

- ・大学生、大学院生は、2024年4月に大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学の応用化学(化学工学)系学科に募集案内を送付しました。
- ・3大学より18名採用予定に対し、3大学より15名の推薦があり、選考の結果大学生第4学年3名、大学院の第1学年6名、同第2学年5名の合計14名の奨学生を決定しました。
- ・大学生及び大学院生は、大学院第1学年から第2学年に進級した1名と合わせ、合計15名に、一人あたり月額30,000円の奨学金を給付し、給付額は、5,400千円となりました。

【奨学金給付の累計】

2024年度は、高校41名、大学15名、奨学金給付総額12,780千円となり、財団創立以来の累計は、以下のようになりました。

- ・延べ人数:高校生886名、大学生・大学院生347名
- ・給付総額:282,410千円

(国際交流支援事業)

今年度は、申請1件について選考委員にて審査の結果1件が採択され、イギリスで開催された国際研究集会への出席に対して、300千円を助成しました。

2. その他

資産運用としては、償還された債券などを原資として、東京地下鉄(株)の株式23千株を27,600千円で、ゆうちょ銀行(株)の株式15千株を21,660千円で購入しました。

事業報告書に係る附属明細書

特段記載する事項はありません。

以 上